

2 特別会計

国民健康保険事業など6つの特別会計の決算額合計は、歳入合計104億390万円（対前年度比5.1%減）に対し、歳出合計101億6,059万円（対前年度比2.9%増減となりました）。

国民健康保険事業、水沼診療所、公共下水道事業、漁業集落排水事業、介護保険事業及び後期高齢者医療の各特別会計は、すべて黒字決算となりました。

(1) 歳入決算の状況

(単位：千円)

会計区分	平成30年度	構成比(%)	平成29年度	構成比(%)	増減額	増減率(%)
国民健康保険事業	5,066,050	48.7	5,986,669	54.6	△ 920,619	△ 15.4
水沼診療所	7,244	0.1	7,727	0.1	△ 483	△ 6.3
公共下水道事業	623,893	6.0	516,882	4.7	107,011	20.7
漁業集落排水事業	57,691	0.5	59,789	0.5	△ 2,098	△ 3.5
介護保険事業	4,170,397	40.1	3,932,949	35.9	237,448	6.0
後期高齢者医療	478,620	4.6	456,333	4.2	22,287	4.9
歳入合計	10,403,895	100.0	10,960,349	100.0	△ 556,454	△ 5.1

(2) 歳出決算の状況

(単位：千円)

会計区分	平成30年度	構成比(%)	平成29年度	構成比(%)	増減額	増減率(%)
国民健康保険事業	4,994,066	49.2	5,646,121	54.0	△ 652,055	△ 11.5
水沼診療所	6,787	0.1	7,106	0.1	△ 319	△ 4.5
公共下水道事業	606,021	5.9	505,165	4.8	100,856	20.0
漁業集落排水事業	51,306	0.5	56,646	0.5	△ 5,340	△ 9.4
介護保険事業	4,027,233	39.6	3,789,994	36.2	237,239	6.3
後期高齢者医療	475,179	4.7	455,151	4.4	20,028	4.4
歳出合計	10,160,592	100.0	10,460,183	100.0	△ 299,591	△ 2.9

3 企業会計

水道事業会計の収益的収支は黒字決算となりましたが、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

工業用水道会計の収益的収支は赤字決算となり、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、減債積立金等で補てんしました。

市民病院会計の収益的収支は赤字決算となり、資本的収支は収入額が支出額に対し不足したため、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

(1) 収入決算の状況（消費税込み）

（単位：千円）

会計区分		平成30年度	構成比 (%)	平成29年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
上水道	収益的	1,221,079	—	1,029,887	—	191,192	18.6
	資本的	1,101,813	—	401,086	—	700,727	174.7
工業用水道	収益的	149,085	—	145,835	—	3,250	2.2
	資本的	0	—	0	—	0	—
市民病院	収益的	3,262,800	—	3,244,108	—	18,692	0.6
	資本的	150,289	—	152,393	—	△ 2,104	△ 1.4

(2) 支出決算の状況（消費税込み）

（単位：千円）

会計区分		平成30年度	構成比 (%)	平成29年度	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
上水道	収益的	924,690	—	940,650	—	△ 15,960	△ 1.7
	資本的	1,756,061	—	701,900	—	1,054,161	150.2
工業用水道	収益的	188,355	—	176,389	—	11,966	6.8
	資本的	52,220	—	54,236	—	△ 2,016	△ 3.7
市民病院	収益的	3,388,544	—	3,294,033	—	94,511	2.9
	資本的	266,488	—	263,611	—	2,877	1.1

なお、公営企業のすべてにおいて、財政健全化法上の資金不足は生じていない。

※資金不足比率…公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合を示すもの。